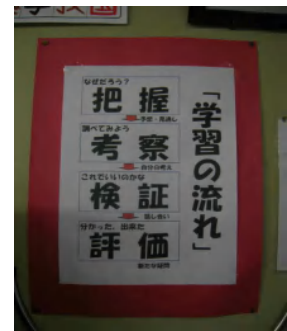


B-1 授業のフローチャート化

課題解決型の学習過程を構築することは生徒の社会科の学習力を向上させるために必要なことである。

そこで、1時間の授業の流れをフローチャート化することで、教師も生徒も課題解決型学習を意識化できるような取り組みを行った。



①【「把握」の段階】

(生徒) 課題について関心を持ち、予想や見通しを立てる。

(教師) 授業の「課題」(ねらい)を必ず提示する。

授業後、生徒も教師も本時の授業がどうであったか検証できる。

②【「考察」の段階】

(生徒) 調べたり、試したりしながら自分の考えを持つ。

(教師) 意欲づけ、授業に引き込むための手だてを工夫する。(教材、発問の工夫)

課題を提示した後、いかにして授業に引き込むか。

③【「検証」の段階】

(生徒) 考えたことを話し合い活動などで検証する。

(教師) 話し合い活動、グループ学習の意義を把握した上で実践する。

生徒には、グループ学習のルール(役割分担、意見交換、話す・聞く態度)を定着させる。

④【「評価」の段階】

(生徒) 授業を通してわかったこと、出来たことを振り返る。

(教師) 「課題」(ねらい)に対して到達度を自己評価する。また、到達できなかった内容を明確にする。